

熊本地震 関連事業決算

令和2年度は熊本地震の復旧・復興のために、令和元年度からの繰越も含めて約23億円（一般会計）を使いました。

熊本地震関連の主な事業		復興基金創意工夫をあてた事業	
熊本地震復興イベント(国道57号北側復旧ルート、JR豊肥本線開通イベント等)への補助金	1,311万円	災害用備蓄食料を購入するための費用	174万円
新庁舎建設に係る工事のための費用(一部)	11億1,540万円	災害公営住宅等に入居されている高齢者世帯等へ緊急通報装置を整備するための費用	64万円
仮設庁舎や仮設書庫・倉庫などの借上料	3,254万円	被災した宅地の地盤改良を行うための補助金	251万円
被災者の生活再建と自立支援のための地域支援合いセンターの運営費用	2,195万円	合併浄化処理槽を設置するための補助金	33万円
宅地耐震化推進事業(拡充事業)のための費用	9億1,330万円	被災した地区公民館の備品購入に対する補助金	56万円
		仮設団地の談話室・集会場を移設し、地域コミュニティの拠点として活用するための費用	3,156万円
		一部損壊世帯の住宅修理費に対する見舞金	480万円
		岩戸溪谷遊歩道の復旧調査を行うため費用	119万円
		被災した地域コミュニティ施設の再建のための補助金	109万円
		被災した農業者の農業用施設の再建のための補助金	457万円
		被災住宅再建支援(土砂災害特別警戒区域外へ移転)のための経費	477万円
		被災した地区公民館の復旧、修繕に対する補助金	192万円
		半壊以上の判定を受けた住宅の応急修理に対する補助金	1,131万円

新型コロナウイルス感染症対策関連の主な事業

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のために、約44億円（一般会計）を使いました。

感染防止対策		経済対策その他	
高齢者の福祉施設等の感染予防・事業継続対策支援事業	1,561万円	特別定額給付金事業(世帯に一人当たり10万円を給付)	35億4,253万円
飲食店等の感染防止対策事業	1,171万円	出産育児特別給付金(令和2年4月28日以降に出産された人へ10万円の給付金を支給)	5,830万円
学童保育施設の臨時特別開所経費及び自粛要請による利用料の補助	2,249万円	子育て世帯への臨時特別給付金	5,986万円
保育園、認定こども園、学童保育施設、子育て関係施設の感染症対策に係る補助	2,614万円	生活支援臨時特別支援金(令和2年度非課税世帯への臨時特別支援金給付事業)	6,812万円
児童生徒1人1台の端末整備など、GIGAスクール構想の実現に対応するための費用	2億6,300万円	緊急経済協力金事業(感染拡大防止の取り組みをする飲食・宿泊業への協力金)	3,604万円
小中学校のコロナ対策用品購入事業	4,712万円	宿泊客誘致緊急対策事業(観光業を支援するため宿泊費等の助成)	3,422万円
		給食費保護者負担軽減補助金(8月期分の給食費無償化)	1,444万円

町の財政は大丈夫? ~健全化判断比率・資金不足比率~

「健全化判断比率」とは、財政が良好かどうか判断できる指標です。財政破たんを防止し早期に健全化を図ることを目的としています。「早期健全化基準」を上回ると、自主的な改善努力をしなければなりません。大津町は基準よりも下回っていますので、財政は健全な状態ということが分かります。

健全化判断比率	令和2年度	令和元年度	早期健全化基準	比率	令和2年度	令和元年度	経営健全化基準
①実質赤字比率	—	—	13.62	⑤資金不足比率	—	—	20.00
②連結実質赤字比率	—	—	18.62				
③実質公債費比率	8.0	9.6	25.00				
④将来負担比率	—	—	350.00				

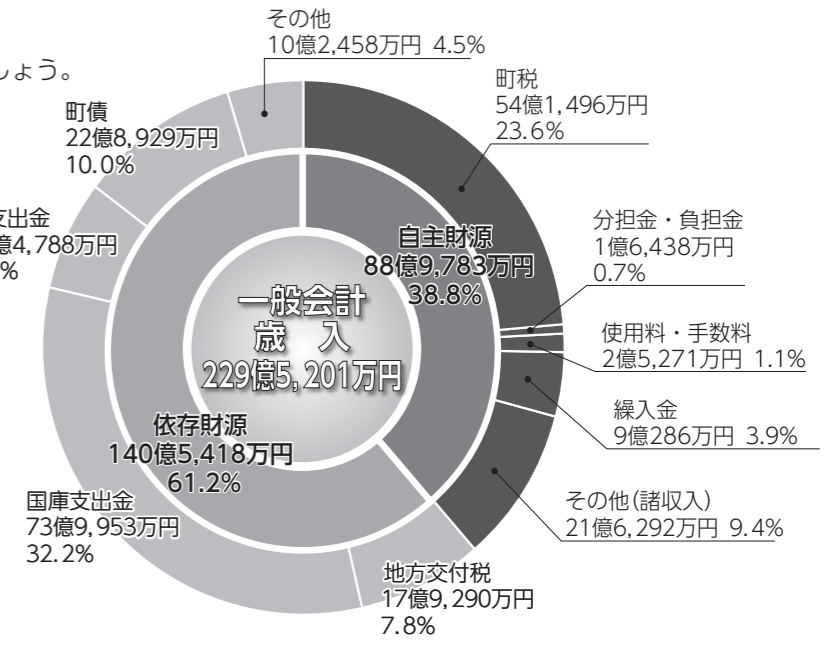
※①、②、④、⑤は黒字のため「-」を表示しています。

- ①実質赤字比率………財政運営の悪化の度合いを示す比率です。大津町は、実質黒字です。
- ②連結実質赤字比率………全ての会計を合算し、町全体の財政運営の度合いを示す比率です。大津町は、黒字です。
- ③実質公債費比率………元利償還金など(借金の返済額など)を指標化した比率です。
- ④将来負担比率………将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す比率です。
- ⑤資金不足比率………公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する比率です。大津町は、公共下水道事業会計、農業集落排水事業会計、工業用水道事業会計の各会計とも資金の不足額はありません。

歳入の状況

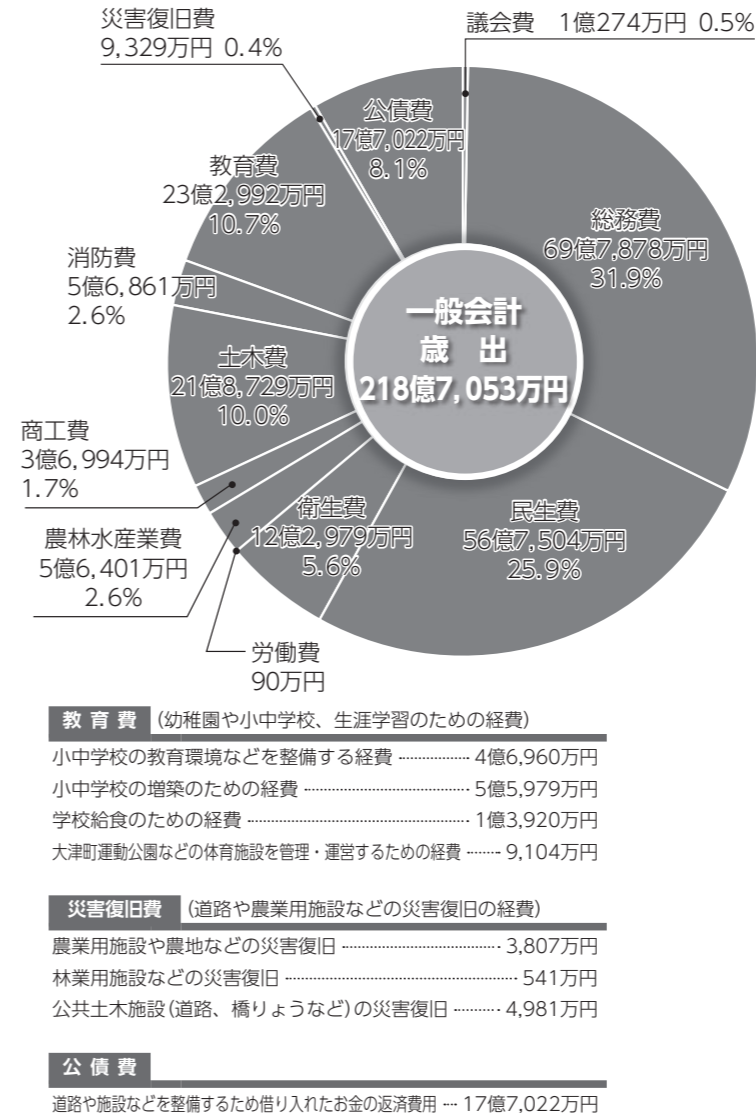
町にどのようなお金が入ってきたのかを見ましょう。

自主財源 …… 町税など町の権限で集めるお金		依存財源 …… 国や県などの決定で入るお金	
町税	住民税や固定資産税など	地方交付税	国が地域間の格差を調整するために交付するお金など
分担金・負担金	保育園の保育料など	国庫支出金	国からの補助金など
使用料・手数料	施設の使用料や町営住宅の家賃など	県支出金	県からの補助金など
繰入金	基金や特別会計からの繰入金	町債	道路や施設を整備するために借りましたお金
その他(諸収入)	前年度からの繰越金や寄付金など	その他	地方消費税交付金や交通安全対策特別交付金など



歳出の状況

皆さんに納めてもらった税金を、町はどのように使ったのかを見ましょう。



このような事業に使いました(主な事業)	
議会費 (町議会の運営をする経費)	町議会議員報酬や研修旅費、議事録の反訳料などの経費 …… 1億274万円
総務費 (公共交通や、選挙、統計調査などの経費)	バスの生活路線や乗合タクシーへの補助金 …… 4,910万円 基金(町の貯金)の積立金 …… 5億7,138万円 新庁舎建設のための経費 …… 11億2,753万円
民生費 (子どもや高齢者、障害のある人に対する福祉の経費)	国民健康保険特別会計への繰入金 …… 2億1,976万円 介護保険特別会計への繰入金 …… 4億287万円 後期高齢者医療広域連合への負担金 …… 3億677万円 障害のある人への医療や支援事業の経費 …… 10億8,687万円 児童手当の支給経費 …… 7億4,879万円 私立保育園、小規模保育園などを運営する負担金 …… 15億5,202万円
衛生費 (医療や健康づくり、ごみ処理のための経費)	妊婦や子どもの健診のための費用 …… 3,429万円 予防接種のための費用 …… 1億4,262万円 子どもへの医療のための経費 …… 1億4,346万円 ごみの収集や焼却・し尿を処理するための経費 …… 6億6,375万円
労働費 (雇用確保や雇用相談のための経費)	
農林水産業費 (農林業の振興と育成のための経費)	農業を行う個人や団体に対する補助金 …… 9,489万円 農業集落排水事業会計への繰入金 …… 1億917万円 農業用施設の整備や維持管理に対する経費 …… 1億5,865万円 林道や、町有林などを整備・管理する経費 …… 4,931万円
商工費 (観光や商工業・水産業の振興のための経費)	イベントへの補助金など観光振興のための経費 …… 2,472万円
土木費 (道路や公園、町営住宅の整備などのための経費)	町道を改良する工事費などの経費 …… 1億6,430万円 公共下水道事業会計への繰入金 …… 2億2,207万円 町立公園等の整備や管理をするための経費 …… 2億1,180万円
消防費 (火災や自然災害防止のための経費)	菊池広域連合の消防費負担金 …… 4億231万円 消防団の活動などを支援するための経費 …… 4,158万円